

II SSH 運営指導委員会の記録

【運営指導委員】(50音順) ◎委員長、○副委員長

氏名	所属等
市川 寛子	東京理科大学教養教育研究院野田キャンパス教養部教授
高谷 直樹	筑波大学生命環境系教授
武若 聡	筑波大学システム情報系教授
○牧下 英世	芝浦工業大学工学部教授
小倉 聡	龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校長
◎吉瀬 章子	筑波大学システム情報系長 教授

【管理機関委員(教育庁)】

氏名	所属等
柳橋 常喜	茨城県教育庁学校教育部高校教育課課長
津賀 宗充	茨城県教育庁学校教育部高校教育課副参事
塚田 歩	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導担当課長補佐
西田 淳	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事
廣澤 正則	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事

【校内委員】

氏名	所属等	氏名	所属等
太田垣 淳一	校長	湯原 雄一	探究部 副部長【課題解決】(理科・生物)
大西 武彦	全日制教頭(理科・物理)	高橋 茂	探究部 SSH 嘱託事務員
内川 美佳	附属中教頭(国語)	坂本 伸吾	探究部【理数探究】高校 第3学年 SS クラス担任(数学)
鈴木 雅巳	全日制教務主任(数学)	岩沢 哲也	探究部【理数探究】高校 第2学年 SS クラス担任(数学)
鹿野 英一	附属中教務主任(理科・化学)	岡田 広	探究部【課題解決】高校 第2学年 担任(国語)
井川 裕司	進路指導部主任(英語)		
本橋 隆志	高校 第3学年主任(理科・物理)		
諏訪原 和子	高校 第2学年主任(英語)		
齊藤 宗一朗	高校 第1学年主任(国語)		
小林 徹也	探究部 部長【理数探究】(数学)		
中山 幸昭	探究部 部長【課題解決】(地歴・世界史)		
片岡 亜矢子	探究部 副部長【理数探究】(理科・生物)		
出雲 辰雄	探究部 副部長【理数探究】(理科・生物)		

令和4年度 第1回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会の記録

(1) 第1回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会の記録

- ア 実施日時 令和4年6月23日(木) 13:30~15:00
実施場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 会議室
- イ 出席者 別紙参照
- ウ 運営指導委員 議事
- (ア) 開会
- 挨拶 主催者 柳橋 常喜 [茨城県教育庁学校教育部高校教育課課長]
研究指定校 太田垣 淳一 [茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校長]
 - 委員の紹介
- (イ) 委員長・副委員長の選出
- 委員長: 吉瀬 章子先生 [筑波大学システム情報系長教授]
副委員長: 牧下 英世先生 [芝浦工業大学工学部教授]
- (ウ) 協議 [議長: 運営指導委員会委員長 吉瀬 章子先生]
- 生徒研究発表会について
(委員の先生方より)
 - 研究のレベルが上がっているが、スライド・レジュメは改善の余地あり。
 - 実験結果が、仮説や予想通りにはいかないことがある。これこそがサイエンスである。
 - 0(ゼロ)を1にすることが大変なところであり、同時に研究の楽しさでもある。
 - 研究とは教科書(前例)のない分野に挑戦することであり、教科書に書かれていないことに取り組む大学生が求められている。
 - 生物学と物理学に跨がる分野が、今の社会が求めている研究である。
 - 「できなかった…」で終わるのではなく、そこから一つひとつ新しいものを創り出して行って欲しい。
 - 生徒は、SSHの発表を楽しんでいる様子が見られた。また、評価方法もよかった。

(本校より)

 - テーマ決め・スライド作成・レジュメ作成については、コロナ禍の影響や、時期的に学校行事との重複もあり、厳しいスケジュールの中で活動した結果、現状のような状況に至った。
 - グループ研究か、個人研究か、今後どちらの方向が良いか考えていきたい。
 - 上級生から下級生への研究指導の体制の構築。SSクラスの「OB会」を利用してみてはどうか。
 - 2期目4年目の取り組みについて
 - 「問う力」の再定義と評価。
各教科(国語・地歴公民・数学・理科・英語・芸術)で研究授業を実施。
- (エ) 閉会

令和4年度 第2回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会

(1) 第2回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会は以下の日程にて実施予定。

- ア 実施予定日時 令和5年3月17日(金) 13:30~15:00
- イ 実施予定場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 会議室